

令和 4 年 第 1 0 回

武蔵村山市教育委員会定例会

令和 4 年 1 0 月 2 1 日

武蔵村山市教育委員会

令和4年第10回武蔵村山市教育委員会定例会

1 日 時 令和4年10月21日（金）

開会 午前 9時30分

閉会 午前10時22分

2 場 所 武蔵村山市役所5階 委員会室

3 出席委員 池谷光二（教育長） 大野 順 布
杉原 栄 子 比留間 雅 和
潮 美 和

4 説明のため出席した者の職氏名

教育部長	諸星 裕	学校教育担当部長	東口 孝正
教育総務課長	平崎 智章	教育施設担当課長	櫻井 謙次
指導・教育センター担当課長	赤坂 弘樹	学校給食課長	長谷 慶一
防災食育センター整備担当課長	矢野 喜之	文化振興課長	西原 陽
スポーツ振興課長	鳥海 純子	図書館長	藤本 昭彦
指導主事	石井 和成	指導主事	加藤 由裕

5 会議に出席した事務局の職員

教育総務課教育政策係 池谷正太郎
吉野恵里加

議事日程

- 1 会期の決定
- 2 前回会議録の承認
- 3 教育長報告
- 4 その他
- 5 議案第50号 武蔵村山市教育委員会事務局職員の任免に係る臨時代理の承認について

◎開会の辞

○池谷教育長 本日の会議に際し、2名の方から傍聴の申出があり、武蔵村山市教育委員会会議規則第29条の規定に基づき、会議の傍聴を許可しましたので報告いたします。

また、本日の会議におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、密閉・密集・密接の状況を極力回避して進めてまいりたいと思いますので、委員の皆様方には御協力をお願いいたします。

また、会議時間をできるだけ短くするように努めることも必要であると考えますので、事務局職員におきましては簡潔な説明をお願いいたします。

それでは、始めます。

本日の出席委員は全員でございます。

これより令和4年第10回武蔵村山市教育委員会定例会を開催いたします。

◎議事日程の報告

○池谷教育長 本日の議事日程は、あらかじめお手元に配布したとおりでございます。

これに御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○池谷教育長 御異議なしと認め、配布のとおり決定いたします。

◎日程第1 会期の決定

○池谷教育長 日程第1、会期の決定を議題といたします。

本定例会の会期は、本日限りといたしたいと思います。

これに御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○池谷教育長 御異議なしと認めます。

したがって、会期は本日限りといたします。

◎日程第2 前回会議録の承認

○池谷教育長 日程第2、前回会議録の承認を議題といたします。

本件は、これを承認することに御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○池谷教育長 御異議なしと認めます。

よって、本件は承認されました。

本日の会議録の署名は、大野教育長職務代理者をお願いいたします。

◎日程第3 教育長報告

○池谷教育長 日程第3、教育長報告を議題といたします。

1点目でございますが、令和4年度教育関係寄贈に対する感謝状の贈呈者一覧についてでございます。

資料1を御覧いただきたいと思います。

内容につきましては、教育総務課長から報告いたします。

平崎教育総務課長、お願いします。

○平崎教育総務課長 それでは、令和4年度教育関係寄贈に対する感謝状の贈呈者一覧について御報告いたします。

資料1を御覧ください。

令和3年9月1日から令和4年8月31日までの間で、市の表彰規程に当てはまらない本市の学校教育、社会教育のために寄贈をしていただいた個人及び団体に対しまして、教育委員会から感謝状を贈呈したいと考えております。

対象者及び寄贈の内容等は資料にお示ししたとおりでございます。

説明につきましては以上でございます。

○池谷教育長 続きまして、2点目でございます。

令和4年度学校選択制申請状況（令和5年度入学）についてでございます。

資料2を御覧いただきたいと思います。

内容につきましては、教育総務課長から報告いたします。

平崎教育総務課長、お願いします。

○平崎教育総務課長 それでは、令和4年度学校選択制申請状況（令和5年度入学）について御報告申し上げます。

資料2を御覧ください。

令和5年4月に中学校に入学する新1年生を対象とした学校選択制の申請を9月に受付し

た結果でございます。本年度は 79 人の申請がございました。令和 5 年度の入学予定者数は 601 人でございますので、約 13.1%の児童に学校選択制を御利用いただいたことになります。

参考となりますが、令和 3 年度につきましては、719 人の入学予定者のうち申請は 76 人で、10.6%の実績でございました。

資料の上段の表を御覧ください。各中学校の状況でございますが、表の縦が転入、横が転出となっております。第一中学校は転入 37 人、転出 24 人。村山学園中学部は転入 0 人、転出 7 人。第三中学校は転入 26 人、転出 6 人。大南学園第四中学校は転入 13 人、転出 10 人。第五中学校は転入 3 人、転出 32 人となっております。

次に、中段の表、主な理由でございますが、友人関係、部活動、通学距離、兄弟関係、その他の主な理由では、学校の伝統や校風、学校案内パンフレット、通学路の安全などが挙げられております。

最後に、下段の入学予定者数の表を御覧いただきたいと思います。こちらにつきましては、今後、転入転出や私立学校への入学者等の状況により変動することがございます。あくまでも現時点での情報を基に算定した数値ということになりますが、参考として御報告させていただきます。なお、資料の中ほどに申請方法別の申込件数をお示ししておりますが、昨年度までは窓口で申請の受付をしておりましたが、今年度から保護者の利便性向上を図るため電子申請を追加いたしました。その結果、約 52%の方が電子申請を御利用いただいている状況でございます。

説明につきましては以上でございます。

○池谷教育長　続きまして、3 点目でございます。

第 46 回市立中学校総合体育大会の結果についてでございます。

資料 3 を御覧いただきたいと思います。

内容につきましては、指導・教育センター担当課長から報告いたします。

赤坂指導・教育センター担当課長、お願いします。

○赤坂指導・教育センター担当課長　それでは、第 46 回市立中学校総合体育大会の結果について御報告いたします。

資料 3 を御覧ください。

本年度の私立中学校総合体育大会は、7 月 16 日から 9 月 11 日の期間で、市内各中学校の運動部活動 7 種目において学校対抗の試合形式で競技が行われました。実施いたしました 7 種目の競技に 524 人の中学生が参加いたしました。結果等につきましては、資料 3 の裏面に

掲載いたしました。

教育委員会といたしましては、今後も中学校部活動の一層の活性化を図ってまいりたいと考えております。

説明は以上でございます。

○池谷教育長　続きまして、4点目でございます。

令和4年度全国学力・学習状況調査武蔵村山市版結果報告書についてでございます。

資料4を御覧いただきたいと思います。

内容につきましては、指導主事から報告いたします。

石井指導主事、お願いします。

○石井指導主事　それでは、令和4年度全国学力・学習状況調査武蔵村山市版結果報告書について御説明いたします。

資料4を御覧ください。

まず、表紙をおめくりいただき、目次を御覧ください。本報告書は4部構成となっており、1ページに調査の概要を、2ページから19ページに小学校の調査結果を、20ページから37ページに中学校の調査結果を、38ページに調査問題等が掲載されているウェブサイトへアクセスするための二次元コードを掲載しております。

次に、1ページを御覧ください。まずは、調査の概要について御説明いたします。本調査は、小学校第6学年、中学校第3学年及び中学部第9学年を対象に、令和4年4月19日に実施いたしました。今年度の実施教科は国語、算数・数学及び理科となっております。また、生活習慣等に関する質問紙調査も実施いたしました。

次に、小学校の調査結果を御説明いたします。

まずは、2ページ、3ページを御覧ください。小学校の平均正答数及び平均正答率をお示ししております。2ページ上段には、武蔵村山市、東京都、全国の各教科の平均正答数及び平均正答率をお示ししております。2ページ中段以降は、各教科の平均正答数分布グラフをお示ししております。御覧いただいておりますように、3教科全てで全国及び都の平均正答率を下回ったという結果となっております。

続いて、4ページ、5ページを御覧ください。こちらは、各教科領域別の結果をグラフ及び表でお示ししております。領域別において、3教科全てで全国及び都の平均正答率を上回る領域はございませんでした。

6ページ、7ページには、問題形式別の結果をグラフ及び表でお示ししております。教科

内の問題形式で比較すると、国語及び理科については選択式の平均正答率が最も高くなっておりますが、算数については短答式の平均正答率が最も高いという結果になりました。

8 ページから 10 ページには、市内小学校において平均正答率が高かった問題を掲載しております。

8 ページ、国語においては、話合いの様子の一部で、中村さんが前田さんに質問し、知りたかったことの説明として適切なものを選択する問題に対し、市内の小学校の平均正答率は 79.8%でした。

9 ページ、算数においては、 $1,050 \times 4$ を計算する問題に対し、市内小学校の平均正答率は 91.8%でした。

10 ページ、理科においては、見いだされた問題を基に、観察の記録が誰のものであるかを選ぶ問題に対して、市内小学校の平均正答率は 90.5%でした。

11 ページから 13 ページには、市内小学校において特に課題の見られた問題を掲載しております。

11 ページ、国語においては、伝え合いの様子の一部を基に、文章 2 のよさを書く問題に対し、市内小学校の平均正答率は 23.0%でした。

12 ページ、算数においては、果汁が含まれている飲物の量を半分にしたときの果汁の割合について正しいものを選ぶ問題に対し、平均正答率は 18.7%でした。

13 ページ、理科においては、問題に対するまとめから、その根拠を実験結果を基にして書く問題に対して、市内小学校の平均正答率は 23.4%でした。

14 ページから 19 ページは、児童質問紙と学力のクロス分析についてです。

14 ページ、15 ページは、市内小学校における平日テレビゲームに費やす時間と平均正答率の相関関係を、教科別に表・グラフでお示ししております。市内小学校では、テレビゲームに費やす時間が少ないほど学力が高い傾向にあると読み取ることができます。

16 ページ、17 ページは、市内小学校における平日授業以外の学習時間と平均正答率の相関関係を、教科別に表・グラフでお示ししております。市内では、家庭学習に時間を費やすほど平均正答率が高い傾向にあると読み取ることができます。

18 ページ、19 ページは、市内小学校における学習態度と平均正答率の相関関係を、表・グラフでお示ししております。市内では、主体的に取り組むほど平均正答率が高い傾向にあることが読み取ることができます。

なお、ただいま御説明しましたアからウにつきましては、32 ページから 37 ページにお示

している中学校の生徒質問紙と学力のクロス分析においても同様の傾向が見られました。

以上が、小学校の調査結果でございます。

次に、中学校の調査結果を御説明いたします。

まずは、20 ページ、21 ページを御覧ください。中学校の平均正答数及び平均正答率をお示ししております。20 ページ上段には、武蔵村山市、東京都、全国の各教科の平均正答数及び平均正答率をお示ししております。20 ページ中段以降は、各教科の平均正答数分布グラフをお示ししております。御覧いただいておりますように、3 教科全てで全国及び都の平均正答数を下回るという結果となりました。

続いて、22 ページ、23 ページを御覧ください。こちらは、各教科領域別の結果をグラフ及び表でお示ししております。領域別において、3 教科全てで全国及び都の平均正答率を上回る領域はございませんでした。

24 ページ、25 ページには、問題形式別の結果をグラフ及び表でお示ししております。教科内の問題形式で比較すると、平均正答率が数学においては短答式が、理科においては記述式が最も高いという結果となりました。

26 ページから 28 ページには、市内中学校において平均正答率が高い問題を掲載しております。

26 ページ、国語においては、最初にした文字の漢字のバランスについて説明したものを選択する問題に対し、市内中学校の平均正答率は 84.0%でした。

27 ページ、数学においては、容器の蓋を投げたときに下向きになる確率を選ぶ問題に対し、市内中学校の平均正答率は 78.4%でした。

28 ページ、理科においては、分子のモデルで表した図を基に、水素の燃焼を化学反応式で表す問題に対し、市内中学校の平均正答率は 70.3%でした。

29 ページから 31 ページには、市内中学校において特に課題の見られた問題を掲載しております。

29 ページ、国語においては、スピーチのどの部分をどのように工夫して話すのかと、そのように話す意図を書く問題に対し、平均正答率は 40.9%でした。

30 ページ、数学においては、連立二元一次方程式を解く問題に対し、市内中学校の平均正答率は 61.8%でした。

31 ページ、理科においては、予想や仮説と異なる実験の結果が出る場合、その意味することや考えられる可能性について考え、実験の操作や条件制御の不備の可能性を指摘する問題

に対して、市内中学校の平均正答率は 42.0%でした。

以上が、中学校の調査結果でございます。

今年度、学力向上推進委員会の取組として、各校において東京ベーシック・ドリルの積極的活用により反復学習を重点化しております。今回の学力調査の結果について、学校、同委員会で共有し、学力向上の取組に生かしてまいりたいと考えております。

今後も、児童・生徒の学力向上に資する指導の充実が図られるよう、教育委員会として指導、助言してまいります。

説明は以上でございます。

○池谷教育長 続きまして、5 点目でございます。

令和 4 年度武蔵村山市立学校研究発表会についてでございます。

資料 5 を御覧いただきたいと思います。

内容につきましては、指導主事から報告いたします。

石井指導主事、お願いします。

○石井指導主事 それでは、令和 4 年度武蔵村山市立学校研究発表会について御説明いたします。

資料 5 を御覧ください。

こちらは、令和 4 年度に実施いたします研究発表会の日時等について一覧にまとめたものでございます。1 段目、第二小学校が令和 5 年 2 月 17 日金曜日に、2 段目、第三小学校が令和 5 年 2 月 3 日金曜日に、どちらも市の特色ある学校づくり推進校として研究発表を行います。3 段目、第八小学校は、教育課程実践検証校協力校として令和 5 年 2 月 10 日金曜日に研究発表を行います。

全ての学校の研究発表は、それぞれ重要な教育課題への取組になっていることから、できる限り多くの教員が参加できるよう各校長に依頼したところでございます。

教育委員会としましては、各学校の研究を通して児童・生徒の生きる力を育めるよう、引き続き支援してまいります。

説明につきましては以上でございます。

○池谷教育長 続きまして、6 点目でございます。

令和 4 年度授業改善推進プランについてでございます。

資料 6 を御覧いただきたいと思います。

内容につきましては、指導主事から報告いたします。

石井指導主事、お願いします。

○石井指導主事 それでは、令和４年度授業改善推進プランについて御説明いたします。

資料６を御覧ください。

まずは、１ページを御覧ください。

こちらには授業改善推進プランの見方をお示ししております。今年度は、授業改善推進プランに基づいた授業改善がより一層図られるよう、通常学級を対象に作成する授業改善推進プランのフォーマットを刷新し、東京都教育委員会の児童・生徒の学力向上を図るための調査（以降、都調査といいます）の調査結果を活用するとともに、対象学年を小学校では第４学年から第６学年に、対象教科を小・中学校ともに国語、算数・数学に絞ることとしました。

また、これまで評価の指標を定めること、目標を数値化すること、取組結果を評価することとはしていませんでしたが、今年度は都調査の質問項目を引用し、評価の指標を定めるとともに、目標を数値化し、年度末に目標の達成状況を評価することといたしました。現在は２月の結果は未入力ですが、各校で２月までにアンケートを実施し、肯定的な評価の割合を集計することとしております。

なお、昨年度に引き続き、今年度も特別支援学級の授業改善推進プランを作成することとしておりますが、フォーマットの変更は行っておりません。

それでは、今年度作成した中から、小学校１校、中学校１校の授業改善推進プランについて、簡単ではございますが御説明いたします。

まずは、第九小学校です。１２ページ、１３ページを御覧ください。

学校として対象学年の児童の実態・課題を、基礎・基本の定着に課題があると捉え、基礎・基本の定着を図るとともに、対話を通じて学びを深めることを授業の目標とし、授業改善を図ることとしております。

目指す授業に向けた手だてとしましては、第４学年国語では、間違いに気付くための声かけや問いかけを行うことや、第５学年国語では、友達に説明したり文章や作品を読み合ったりする活動を設定することとしております。また、第５学年算数では、自分の考えを持つための時間を確保し、説明や話し合いをする機会を設定することとしております。第九小学校では、これらの手だてを講じた授業を展開し、基礎・基本の定着を図るとともに、学びを深めていくこととしております。

次に、第三中学校です。３２ページ、３３ページを御覧ください。

学校として対象学年の生徒の実態・課題を理解が浅いこと、学習に対する意欲が低いこと

と捉え、自分の課題を発見し、解決しようとする力を育むことなどを目指し、授業改善を図ることとしております。

目指す授業に向けた手だてとしましては、第3学年国語では、読解したことを各自記録してから人に伝える場面を設けることや、第3学年数学では、授業中に生徒同士が分からない問題を相談する時間を設けることとしております。第三中学校では、これらの手だてを講じた授業を展開し、授業を通じて課題を発見し、解決しようとする力を育むこととしております。

以上、2校の授業改善推進プランについて説明させていただきました。

各学校においては、このプランを基に具体的に日々の授業改善を図っております。学力向上を図るためには、児童・生徒が課題とするものをできるようになるまで反復する基礎・基本の定着と、児童・生徒が主体的、対話的に学びを深められる授業改善が必要と考えます。

教育委員会としましては、各学校のプランに基づいた各校の取組の充実に向け、また、現行の学習指導要領が目指す児童・生徒の学びが展開されるよう、若手教員研修会などの研修の場や、各学校での校内研究、授業観察を通して指導してまいりますので、御理解賜りますようお願いいたします。

説明は以上でございます。

○池谷教育長 続きまして、7点目でございます。

第53回市民文化祭の開催についてでございます。

資料7（別冊）を御覧いただきたいと思います。

内容につきましては、文化振興課長から報告いたします。

西原文化振興課長、お願いします。

○西原文化振興課長 それでは、第53回市民文化祭の開催について御報告いたします。

別冊となりますが、資料7の第53回市民文化祭のプログラムを御覧いただきたいと思います。

令和4年11月3日木曜日祝日から11月23日水曜日祝日までの間の土曜日、日曜日、祝日に、市民会館さくらホールで開催いたします。主催は武蔵村山市文化協会の市民文化祭実行委員会、共催が武蔵村山市教育委員会でございます。

開会式につきましては、11月5日土曜日の午前10時から市民会館さくらホール2階のエントランスホールで実施いたします。新型コロナウイルス感染症の関係もございますので、できる限り簡素化して行う予定となっております。

市民文化祭は、市民の日頃の文化活動の成果を発表する場で、内容につきましては、音楽やフラダンス、日本舞踊等の発表部門が 10 部門で、大ホール及び小ホールで行われます。現代詩や盆栽、郷土史等の展示部門につきましても 10 部門で展示室や会議室等で実施し、体験コーナー等を設ける部門もございます。

お時間がございましたら、御来館をいただければと思います。

以上でございます。

○池谷教育長 続きまして、8 点目でございます。

第 11 回武蔵村山市小中学生百人一首大会の開催についてでございます。

資料 8 を御覧いただきたいと思います。

内容につきましては、文化振興課長から報告いたします。

西原文化振興課長、お願いします。

○西原文化振興課長 それでは、第 11 回武蔵村山市小中学生百人一首大会の開催について報告いたします。

資料 8 を御覧ください。

大会の主催は教育委員会、開催日時は 11 月 26 日土曜日、午前 9 時から午後 4 時までを予定しており、会場は総合体育館第二・第三体育室となります。対象は市内在住の小・中学生となります。小学生の部は団体戦で 1 チーム 3 人の 32 チーム、中学生の部は個人戦で 32 人を定員といたします。練習会を 11 月 6 日日曜日、午後 2 時から午後 4 時までを予定しており、会場は市役所 4 階、中部地区会館となります。審判や読み手につきましては、一般社団法人全日本かるた協会に会員の派遣をお願いしております。また、教育を支援する市民の会に大会運営への協力をお願いしております。

なお、小学校は各校 2 チーム、中学校は各校 5 人の学校推薦枠を設けております。

新型コロナウイルス感染症が気になるところではございますが、一般社団法人全日本かるた協会のコロナ禍における練習会・大会開催ガイドラインに基づき、対策等を取りながら百人一首大会を開催させていただきたいと考えております。

報告は以上でございます。

○池谷教育長 続きまして、9 点目でございます。

令和 4 年度武蔵村山市少年・古希軟式野球チーム親善試合の開催結果についてでございます。

資料 9 を御覧いただきたいと思います。

内容につきましては、スポーツ振興課長から報告いたします。

鳥海スポーツ振興課長、お願いします。

○鳥海スポーツ振興課長 それでは、令和４年度武蔵村山市少年・古希軟式野球チーム親善試合の開催結果について御報告いたします。

資料９を御覧ください。

令和４年９月１１日曜日に開催いたしました本事業につきましては、感染症対策として講演会等は開催せず、親善試合のみを行いました。参加状況につきましては、オール武蔵村山少年野球チームが２０人、武蔵村山古希連合チームが２３人で行いました。試合結果は資料にお示しのとおりでございますが、試合開始から得点が入り、最終回には古希連合チームからホームランが飛び出し、とても白熱した試合となりました。

報告は以上でございます。

○池谷教育長 続きまして、１０点目でございます。

令和４年度武蔵村山市スポーツ都市宣言記念事業いきいきわくわくスポーツ教室の開催結果についてでございます。

資料１０を御覧いただきたいと思います。

内容につきましては、スポーツ振興課長から報告いたします。

鳥海スポーツ振興課長、お願いします。

○鳥海スポーツ振興課長 それでは、令和４年度武蔵村山市スポーツ都市宣言記念事業いきいきわくわくスポーツ教室の開催結果について御報告いたします。

資料１０を御覧ください。

令和４年１０月２日曜日に開催いたしました本事業は、陸上の指導・教室など多くの実績をお持ちの井原直樹さんと宮内優さんをお招きし、スポーツの基本となる、「走る、投げる」をテーマにした陸上教室を行いました。当日の参加人数は１１８人で、内訳につきましては資料にお示しのとおりでございます。親子での参加者も多く、楽しく、また真剣に取り組む姿が印象的で、参加された皆様には大変満足していただけたのではないかと考えております。

教育長におかれましては、お忙しい中、開会式に御出席をいただき、誠にありがとうございました。御礼申し上げます。

報告は以上でございます。

○池谷教育長 続きまして、１１点目でございます。

令和４年度東久留米市・武蔵村山市広域連携活動事業ハンドボールフェスティバルの開催

についてでございます。

資料 11 を御覧いただきたいと思います。

内容につきましては、スポーツ振興課長から報告いたします。

鳥海スポーツ振興課長、お願いします。

○鳥海スポーツ振興課長 それでは、令和 4 年度東久留米市・武蔵村山市広域連携活動事業ハンドボールフェスティバルの開催について御報告いたします。

資料 11 を御覧ください。

本事業は、武蔵村山市と東久留米市とのハンドボールを通じた児童・生徒の交流を図ることを目的としております。主催は、武蔵村山市及び武蔵村山市教育委員会、東久留米市及び東久留米市教育委員会でございます。主管は、両市の体育協会で構成される東久留米市・武蔵村山市ハンドボールフェスティバル実行委員会でございます。開催日は 11 月 23 日水曜日祝日、会場につきましては、武蔵村山市総合体育館第一体育室で実施いたします。

当日は、午前中を小学生の部といたしまして、ハンドボールの実技指導と両市の小学生クラブによる対抗戦を 3 試合、午後を中学生の部として、同じくハンドボールの実技指導を行った後、中学生の部活動の対抗戦を 4 試合行う予定でございます。また、観客につきましては制限等行わず通常どおりといたしますが、感染症対策として開会式等は簡素化して実施いたします。

教育長におかれましては、お忙しい中、大変恐縮ではございますが、開会式等に御出席をいただきたいと思いますと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

報告は以上でございます。

○池谷教育長 続きまして、12 点目でございます。

むさむら E K I D E N 2022 の開催についてでございます。

資料 12 を御覧いただきたいと思います。

内容につきましては、スポーツ振興課長から報告いたします。

鳥海スポーツ振興課長、お願いします。

○鳥海スポーツ振興課長 それでは、むさむら E K I D E N 2022 の開催について御報告いたします。

資料 12 を御覧ください。

先月の定例会で、第 50 回武蔵村山市民駅伝競走大会の代替事業についてお話をさせていただきましたが、大会名等が決まりましたので、再度御報告いたします。代替事業の大会名は、

むさむらE K I D E N2022 といったしまして、詳細につきましては資料を添付しておりますが、前回資料から3か所ほど変更いたしましたので御説明いたします。

まず、資料1ページ、2、期日のスタートについてですが、2回に分けて行うことといたしました。これはスタート時の混雑を避け、選手の安全面に配慮したことによるものです。

次に、資料2ページを御覧ください。7、申込み、(1) 申込期間の開始日ですが10月3日月曜日から10月5日水曜日へ変更いたしました。これは、10月1日の市報等により募集案内を開始いたしましたので、チーム参加者を集う期間が必要と判断したことによるものです。

最後の変更箇所は、9、競技方法の中の(5)として、公道を走る際の注意点を記載しておりましたが、今回は公道ではありませんので削除いたしました。

その他につきましては、先月の定例会でお示ししました内容と同様の資料となっております。

なお、参加チームの申込状況ですが、昨日までの時点で栄村からの参加予定2チームを含めまして50チームとなっております。

報告は以上でございます。

○池谷教育長 続きまして、13点目でございます。

図書館除籍資料の無償配布についてでございます。

資料13を御覧いただきたいと思います。

内容につきましては、図書館長から報告いたします。

藤本図書館長、お願いいたします。

○藤本図書館長 それでは、図書館除籍資料の無償配布について御報告いたします。

資料13を御覧ください。

この事業は、武蔵村山市立図書館資料廃棄基準に基づき除籍した図書を、毎年、市内の公共施設や市民へ無償配布し、資料の再活用を図るものでございます。

今年度は、11月10日木曜日及び11日金曜日に児童書を、市内小・中学校のほか、児童館等の公共施設、市内幼稚園・保育園を対象として、また、11月12日土曜日から29日火曜日までは、一般書及び児童書を市民の方を対象として各図書館で配布いたします。

配布する資料は合計約5,000冊を予定してございます。

図書館からは以上でございます。

○池谷教育長 教育長報告は以上でございます。

14 点目のその他でございますが、特に報告等はございません。

教育長報告に対する質疑等があればお受けいたします。

杉原委員、お願いいたします。

○杉原委員 学力・学習状況調査の中のクロス集計の部分で、小・中学校とも大変関連性が出ていると思いました。基本的な生活習慣の中で、ゲームの時間や授業以外の勉強時間、そして自分で考えて自ら取り組んでいる姿勢と平均正答率とのクロス集計には、大変関連性、優位性があると思いました。自分で時間を管理するなど、自らいろいろなことに取り組んでいる子供たちは、やっぱり平均正答率が高いと感じました。

このデータは大変素晴らしいので、生かすことが大切だと思うのですが、どのように配布されてどのように生かされるのか、そのあたりをお聞きしたいと思います。

○池谷教育長 石井指導主事、お願いします。

○石井指導主事 この後、11 月に開催される校長会や学力向上推進委員会において、こちらの資料を配布し、先生方に同様の説明をする予定でございます。

以上でございます。

○池谷教育長 杉原委員、いかがでしょうか。

○杉原委員 状況からはっきりといろいろなことを学べますので、いろいろなところで有効に生かしていただければと思います。そして、子供には時間を自分で管理して、覚えなきゃできないというように知識に頼るのではなく、考えればできるんだという自信を持った子供に育てていただければと思います。

以上です。

○池谷教育長 ありがとうございます。貴重な御意見です。

潮委員、お願いいたします。

○潮委員 先ほど石井指導主事のほうから平均正答率について御説明がございましたけれども、私から 1 点、無解答率について質問です。小・中学校ともに全国、東京都に比べて本市は少し高くなっているように感じますけれども、これについて例えば時間が足りないのかとか、苦手意識などから諦めてしまっただけの無解答なのかということなどの分析などをされているようでしたら、お聞きしたいと思います。

○池谷教育長 ありがとうございます。

いかがでしょうか。

石井指導主事、お願いします。

○石井指導主事 本調査の調査問題は、基本的な知識はもとより、思考を働かせて解答しなければ解けない、また、問題文を精読しないと解けない問題になっているのではないかと思います。このことから、学校においては基礎・基本の定着を図るための授業を現在行っているところではありますが、それに加え、対話的、共同的な学びを通じて思考を働かせる授業を展開していく必要があると思われます。また、問題文が長いということもあるので、集中力を持続させるということも授業の中では心がけて取り組んでいかなければならないものだと捉えております。また、このことについて、若手教員の研修の場面等で指導してまいりたいと考えております。

以上でございます。

○池谷教育長 潮委員、いかがでしょうか。

○潮委員 ありがとうございます。

無解答率の減少というのが正答率に直接つながらないかもしれませんが、先ほど杉原委員からもございましたとおり、子供たちには考える力や挑戦する力をつけてほしいと思いますので、また御指導のほどよろしくお願ひしたいと思います。

ありがとうございます。以上です。

○池谷教育長 ありがとうございます。

貴重な意見、ありがとうございます。

比留間委員、お願いいたします。

○比留間委員 過去の会議の中でも、この学力調査の結果、データ等について、他市の結果等あるかという質問に対し、たしかそういったものがないというような回答をいただいたかと思うんですが、現状も特に変わりはないのでしょうか。

○池谷教育長 石井指導主事、お願いします。

○石井指導主事 それでは、お答えします。

他市の状況についてですけれども、こちらでは情報が整っていないのですが、作成されていないと思われます。

以上です。

○池谷教育長 分かりました。

比留間委員、いかがでしょうか。

○比留間委員 はい。

○池谷教育長 分かりました。ありがとうございます。

大野職務代理者、いかがでしょうか。

○大野職務代理者 報告の7番目でございます。市民文化祭についてでございますけれども、3年ぶりの開催ということで大変喜ばしいことで、関係者の皆様の御尽力に感謝申し上げたいと思います。この3年間、コロナによりまして地域のいろいろな行事が中止となり、伝統文化の継承についても心配されているところでございますが、まずは市民文化祭がコロナ対策を徹底して安全に開催されることで、地域の文化的行事に範を示していただければと思っています。

教育委員会も共催している事業でございます。ぜひとも市民文化祭が安全に、かつ成功裏に開催されますよう、一層のお力添えをお願いしたいなと思っているところでございます。よろしくお願いいたします。

以上です。

○池谷教育長 どうもありがとうございました。

杉原委員、お願いいたします。

○杉原委員 1点、お願いいたします。

授業改善推進プランについてです。各学校とも学力調査の結果を受けて、その学校の実態に合わせて、いろいろ改善プランを立てていらっしゃると思いました。

その中で、33ページの三中の数学の授業改善推進プランですが、なかなか素晴らしいという感想を持ちました。例えば、目指す授業ということで、複数のアプローチで考えさせ説明する機会を増やす、解ければよいから説明できるへ転換、自分の課題を発見し解決しようとする力を育てるなど、数学になくてはならない目標を立てられて、その手だてとして図や表、グラフに表して考えている、自分の考えを説明している、途中の計算も書いているなど、問題解決の中になくてはならない構造的に理解を深めさせ、問題解決力を育てようとしていらっしゃると思いました。

考える力や問題を解決する力など、なくてはならない大切なポイントを非常に授業の中で目指していらっしゃるということで、素晴らしいと思いました。

意見ですけれども、先ほどの学力調査の結果で、問題を読めなければ、問題を理解できなければ、解こうとする意欲も出てきません。けれども、問題を正しく読むことができれば分かるし、できることにつながっていくと思います。この三中の授業改善推進プラン、他の学校でも参考にさせていただきたいと思いましたので、感想ですけれども一言述べさせていただきました。

○池谷教育長 分かりました。ありがとうございました。

三中の授業改善推進プラン、また全校に発信できたと思います。本当ありがとうございました。

比留間委員、お願いいたします。

○比留間委員 では、私からも一言感想というか、願いというか、述べさせていただきたいと思います。

資料2の学校選択制についてですが、この数年の傾向にあるんですが、五中学区から一中への入学を希望する子供たちが多いのかと思います。そのような中、先日、第五中学校吹奏楽部におかれましては東日本大会に出場するなど、活躍も見られております。ぜひそういった活動状況なども小学生に対しさらにアピールして、学校の魅力というのを伝えていただけたらと思います。

以上です。

○池谷教育長 ありがとうございました。

しっかり伝えていきたいと思っています。

その他いかがでしょうか。

(発言する者なし)

○池谷教育長 質疑なしと認めます。

これをもって教育長報告を終わります。

◎日程第4 その他

○池谷教育長 日程第4、その他に入ります。

委員からの報告等の御発言があればお受けいたします。

(発言する者なし)

○池谷教育長 事務局からの報告等の御発言があればお受けいたします。

(発言する者なし)

○池谷教育長 これをもって、その他を終わります。

○池谷教育長 次に、日程第5、議案第50号の審議といたします。

この議案は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項ただし書の規定に基づき、秘密会で審議したいと思います。

これに御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○池谷教育長 御異議なしと認めます。

よって、秘密会とすることに決しました。

ただいまから会議を秘密会といたします。

ここで関係者以外の職員が退席いたしますので、暫時休憩いたします。

午前 10 時 18 分休憩

午前 10 時 20 分再開

○池谷教育長 休憩前に引き続き会議を開きます。

◎日程第 5 議案第 50 号 武蔵村山市教育委員会事務局職員の任免に係る臨時代理の承認について

◎閉会の辞

○池谷教育長 以上で、本定例会に付議されました案件の審議は全部終了いたしました。

これをもって、令和 4 年第 10 回教育委員会定例会を閉会いたします。

長時間ありがとうございました。

午前 10 時 22 分閉会